社会福祉法人　ゴウディングコミュニティ

avancer『アヴァンセ』

令和３年度・第３号

令和３年７月吉日　所長　海老澤政昭

令和３年の半分が過ぎました。まだまだ新型コロナウイルスの影響を受けての取り組みが続いています。７月２２日（木）から富士特別支援学校の長期休暇が始まります。デルタ株の影響を鑑み、長期休暇中のご家族等による県外への移動等につきましては、十分にご配慮をお願いします。浜松市の生活介護事業所にて新型コロナウイルスのクラスターが発生しています。この事業所では検温、アルコール消毒、換気等十分な感染対策を講じていました。障害特性によりマスク着用は５割程度であったそうですが、手添え等密にならざるを得ない業務のため、感染は拡大しやすい環境といえます。最も大事なことは、職員も含め「ウイルスを持ち込まない」ことになります。窮屈な生活にはなりますが、ウイルスの変異が縮小するくらいに感染者が減少するまでは、感染防止を強く意識していこうと思っています。

今月は五節句の一つでもある七夕があります。神戸地区の七夕行事で、行事食としての「ソーメン」を割った竹に流し、みんなで食べたことがあります。流しソーメンですね。地区のお年寄りから聞いた話ですが、“子どものころ、家庭で行った七夕飾りを畑に飾った”のだそうです。七夕の起源の一つでもある“豊作を祈る”がこの神戸地区でも行われていたということですね。

パソコン等で「七夕」と検索すれば、今はたくさんの知識を得ることができます。しかし、その知識とは別に、自分が住んでいる土地では、どんな思いで七夕の行事を行なってきたのか、身近なお年寄りたちから聞いてみるのも大切なことだな、と思っています。

各委員会の役割

労働創造委員会

研修委員会

生活保健委員会

広報委員会

当法人では、労働創造委員会、研修委員会、生活保健委員会、広報委員会、そして運営委員会の５つの委員会が構成されています。これらの委員会には全ての職員がそれぞれ配置され、法人の運営に携わっています。（毎週水曜日 10 時～11 時 30 分、それぞれ１回/月　開催）

労働創造委員会では、感謝祭の看板作りを各事業所毎に割り振って作成する案を出したりします。また、収穫した野菜でアート作品を作る楽しさも提供してくれます。今年は事業所内の草取りを全事業所で一斉に行う予定です。

研修委員会では、様々な発達に関する書籍やコラムなどを集め、主に全国障がい者問題研究会発行の「みんなのねがい」を中心に、障がい者の権利や保障について取り上げ、職員用掲示板に定期的に掲示しています。

生活保健委員会では、時期的な感染症予防対策パンフレットを作成したり、嘔吐対策グッズの確認や AED 研修なども計画しています。

広報委員会は、法人のホームページやフェイスブック、パンフレットや動画など、様々な情報発信元として活動しています。

運営委員会では、所長、事務長、各事業所担当が集まり、毎週木曜日 10 時～11 時 30 分に開催しています。その他に理事長を含めた三役会議も不定期に開催しています。

【編集後記】

梅雨のジメジメももうしばらく続きそうですが、熱中症などに気を付けて過ごしましょう。